

# セブンイレブン・マレーシア (SEVE)

## コスト増で減益も順調な出店続き業容拡大へ

### マレーシア | 小売業 | 業績レビュー

BLOOMBERG SEM:MK | REUTERS SEVE.KL

- 2017/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前年同期比 9.8%増の 5.55 億 MYR、営業利益が同 25.3%減の 16.21 百万 MYR、純利益が同 32.7%減の 10.15 百万 MYR と増収ながら減益となった。
- 新規出店や断食明け大祭の影響などから増収となったが、最低賃金の引き上げや新規出店に伴う費用増加などが影響し減益となった。
- 2017/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 6.6%増の 22.41 億 MYR、営業利益が同 3.5%減の 70.7 百万 MYR、当期利益は同 8.8%減の 47.6 百万 MYR である。

#### What is the news?

2017/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前年同期比 9.8%増の 5.55 億 MYR、売上総利益率は同 1.3%ポイント改善の 32.2%、営業利益が同 25.3%減の 16.21 百万 MYR、純利益が同 32.7%減の 10.15 百万 MYR と増収ながら大幅な減益となった。

新規店舗の出店や断食明け大祭 (6/25-26) が寄与したことなどにより増収。既存店の伸びも増収に寄与した。また利益率の高い商品カテゴリーの販売が伸びたことや、販売促進の強化によって売上高総利益率が 1.3%ポイント改善した。しかし、2016/7/1 に施行された最低賃金の引き上げによる影響や、新規店舗の出店に伴う出店費用や減価償却、棚卸減耗損などの費用が増加し減益となった。販売費および一般管理費は前年同期比 17.1%増の 1.65 億 MYR となった。

#### How do we view this?

会社側は、消費支出や消費者マインドの低迷や、マクロ経済の悪化などの厳しい環境が依然として続くと想定しているが、同社の戦略の中核である「Operations Excellence」、「Cost Management」、「Commercial Innovation」を追求することで、通期では継続的な改善を見込んでいる。

出店状況は 2017/6 末時点で、フランチャイズを含め 2,186 店舗を展開している。店舗数は 2016/12 期は前期比 178 店舗純増の 2,122 店舗、2015/12 期は同 199 店舗純増の 1,944 店舗、2014/12 期は同 188 店舗純増の 1,745 店舗、2013/12 期は 150 店舗純増の 1,557 店舗であった。同社はマレーシア国内市場でのコンビニエンスストアの普及率は依然として低く、出店余地は未だ大きいと見ている。また、電子商取引のプラットフォームを強化しており、タッチアンドゴー、携帯電話のリロード、ユーティリティ請求の支払いなどの店内サービスを増やしている。同社によれば、同サービスは売上高の約 3%、売上総利益の約 12%を占めている模様。2017/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 6.6%増の 22.41 億 MYR、営業利益が同 3.5%減の 70.7 百万 MYR、当期利益は同 8.8%減の 47.6 百万 MYR である。

#### 業績推移

※参考レート 1MYR=26.838円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高(百万MYR)	1,893.1	2,006.2	2,103.3	2,241	2,470
当期純利益(百万MYR)	63.0	55.8	52.1	47.6	55.9
EPS(MYR)	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05
PER (倍)	38.75	31.00	38.75	38.75	31.00
BPS(MYR)	0.19	0.14	0.03	0.06	0.07
PBR (倍)	8.09	10.86	48.90	25.83	22.14
配当(MYR)	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03
配当利回り(%)	1.94	1.29	1.29	1.94	1.94

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

#### 目標株価

配当予想 (MYR)	0.03	(予想はBloomberg)
株価 (MYR)	1.55	2017/10/27

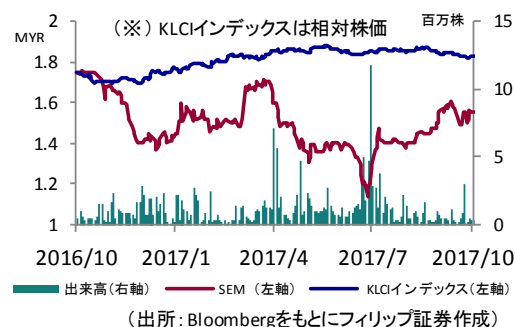
#### 会社概要

1984年設立のマレーシア最大のコンビニエンスストアチェーン。「セブンイレブン」の店舗名で1984年に第1号店をクアラルンプールで出店。2017/6末現在、マレーシアで2,186店舗を展開し、1日当たりの顧客数は90万人である。同社独自のブランドを含め、2,200以上の製品ラインアップを提供。

また、店舗で提供するサービスには、請求書支払いサービス、携帯電話リロードカードやインターネットゲームのスターターパックの販売、インクカートリッジの補充、コピー、ファックス、ATM、近隣地域社会のための掲示板など多岐に及ぶ。

#### 企業データ (2017/10/27)

ベータ値	0.62
時価総額(百万MYR)	1,677
企業価値(百万MYR)	1,802
3ヵ月平均売買代金(千MYR)	1,176



#### 主要株主 (2017/10)

	(%)
1. BERJAYA RETAIL BERHAD	31.61
2. ELEVEN MALAYSIA HLDS BERHA	11.08
3. DYMM SULTAN IBRAHIM JOHOR	9.79

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### アナリスト

庵原 浩樹  
hiroki.ihara@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980

増淵 透吾  
togo.masubuchi@phillip.co.jp  
+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。